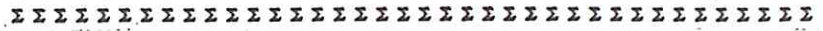


北魚沼郡・小出町原虫野新田のサゼンソウ

富永 弘



サゼンソウは県内にも点々と分布し、とりたてて稀産種という程のものではないと思うが、実際にサゼンソウの花を見たことのある人はそんなに多くはないだろう。それは生育地の多くが山中であり、生育数・面積とも比較的小さいことによると思われる。

近年地元以外にも少し知られるようになったが、小出町原虫野新田には人家や舗装道路のすぐ近くに大きなサゼンソウ群落がある。生育地は魚野川の右岸1km弱の地点で、海拔は約100mと低く、魚野川の形成した河岸段丘に沿って南北約350mにわたっている。崖下には常に湧水が見られ、段丘崖のすぐ上を国道17号線が走っている。

生育地の環境は荒れっぱなしの転作田と隣接し、人工植栽の杉とハンノキとの極めて明るい粗林の下である。オオバクロモジ、ウワミズザクラ、ケアブラチャン、ノリウツギ、キタコブシ、クリ等が生育し、魚沼にはごくありふれた植生である。サゼンソウの咲く早春にはユキツバキ、エゾユズリハ、チマキザサ、ハイイヌツゲやショウジョウバカマ、オクノカンスゲ、ミズバショウ、タニヘゴ等が目につく。夏にはサゼンソウの咲く原は大半がヨシ原と化し、ヨシキリやクイナの声が賑やかで、所々にサワオグルマの黄色い花が群れ咲いている。

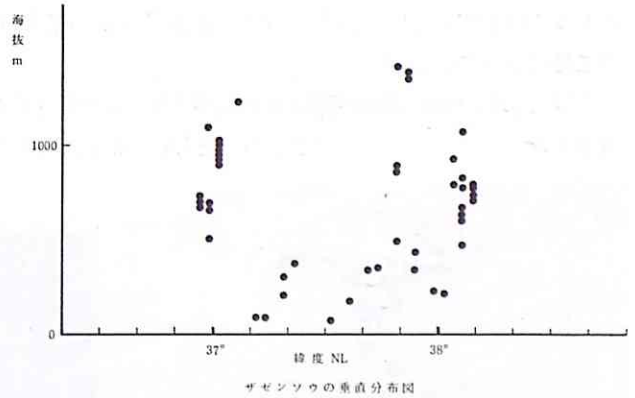
サゼンソウの花は4月から5月にかけての約一ヶ月楽しめる。一年中で最も好天の頃でもあり、ミズバショウやキクザキイチリンソウ、ショウジョウバカマ等の花を愛でに散策する人の姿も見られる。マスコミ等で知ったと遠くから訪れる人も時々ある。

小出町も昨年7月には町の天然記念物に指定し、保護の姿勢をうちだした。僅少な予算のうちから啓蒙用の看板を設置するなどして、環境の保全に努めている。ところが残念なことに盗掘がなかなか無くならず困っているのが実態である。以前からミズバショウの盗掘は後を絶たなかったが、「貴重である」とのマスコミ宣伝が災いしたのか、「ヘッペノワンコ」と呼んで気味悪がられていたのに、にわか

にサゼンソウの盗掘が増えたのには心が痛む。上記のように生育地は集落や道路からごく近く、環境変化を被りやすい場所である。田舎の類似地形によく見られるように、段丘崖の一部は不燃物捨て場の様相を呈し、このゴミの山に隣接して最大のサゼンソウ群落が見られるのである。県内最大のサゼンソウ群落がこのように交通至便の場所にあり、保養上、教育上の価値は決して低いとは思われない。しかしそこは極めて環境変化に弱い場所でもある。何とか身近にある貴重な自然をいつまでも残したいものと思っている。県内各地で、美しく豊かな自然環境の保全に努力されている諸氏の御理解と、それぞれの立場での御協力を切に願う。

Symplocarpus foetidus Nutt.
var. *latissimus* Hara

サゼンソウ (ナトイモ科)



県内のサゼンソウの分布

(中村一男 1987: 新潟県植物分布図集第8集)

(とみなが ひろし みちぐさ山の会会員、小出町在住)